

# 眉をあげて



校長室便り 座間市立西中学校  
第16(33)号 校長 牧野 淳志  
令和4年3月11日発行

## 第53回 卒業証書授与式



3月9日(水)3年生が巣立ちの日を迎えました。今年も在校生は参加ができなかったのですが、卒業式の様子を校長の主観でお知らせしたいと思います。

司会田中先生の「卒業生入場」の言葉で(威風堂々)の曲が流れる中、卒業生が入場です。足の不自由な生徒が着席するまで微動だにせず待つ姿が感動的でした。

教頭先生の「開式の言葉」に続いて鈴木崇・杉山先生の指揮・伴奏で「君が代斉唱」。続いて、\_\_\_\_\_君の指揮、\_\_\_\_さんの伴奏で「校歌斉唱」西中学校で歌う最後の校歌、思いのこもった歌声に式の雰囲気も高まります。そしていよいよ「卒業証書授与」一人ひとり様々な思いを持った中学校生活、体育館中に響き渡る返事をする生徒、視線や言葉で感謝を伝えてくれる生徒、中には目を潤ませている生徒もいて、私も一人ひとりの目を見て気持ちを込めて証書を手渡ししながら、思わず目が潤んできてしまいました。その感情のまま「校長式辞」思いが溢れすぎ、やや時間オーバー(申し訳ない)。最後はこんな言葉で締めくくりました。「西中学校はこれからもずっと君たちの母校です。西中で学んだことに誇りを持って、新しい生活でも大いに力を発揮してください。ここにいる全ての人が、また、ここには来られなかった在校生を含め、多くの人たちが、君たちの卒業を祝福し、君たちの活躍を心から願っています。眉をあげて！更なる高みを目指してください。卒業おめでとう！」

続いてPTA会長の「祝辞」卒業生の母として温かい励ましの言葉をいただきました。

「祝電披露」の後、式はクライマックスへ、「送辞」では、生徒会長\_\_\_\_さんが、後を引き継ぐ後輩として、感謝の気持ちとこれからの決意をしっかりと伝えてくれました。「答辞」では\_\_\_\_君が3年間の思いを込め、感動的な別れと旅立ちの言葉を贈ってくれました。示し合わせたわけではないのですが、\_\_\_\_君の言葉と、私の言葉が多くの部分でリンクしていて、同じ思いで学校を良くしていこうとしていたことに改めて気づかされました。(詳しくは3/14発行の「西中だより」に。)

そして、\_\_\_\_\_君の指揮、\_\_\_\_\_君の伴奏で「卒業生の歌～旅立ちの日～」の合唱。素晴らしかったです。涙ぐむ先生方や保護者の姿が沁みました。「卒業生退場」(3月9日)の曲が流れる中、最後の一人まで、堂々と退場し、卒業式を締めくくりました。

式後は、各教室で学活。クラス最後の時間を涙あり笑いありの中で過ごしました。

そして……、令和3年度卒業生赤学年202名は、西中学校を巣立っていきました。



PTAからのお祝い！手作りメッセージボード

